

- 原 穴→原は三焦を意味し、() 間に存すると仮定す。() の疾患に用い、() 共に可、十二経それぞれの原穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- 郄 穴→郄は 閉じるところ(きまり)と同意で有る。() 疾患に反応が現われその治療に用いる、十二経それぞれの郄穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- 絡 穴→() 実するときによく現れる所と言う、() の疾患、殊に() 疾患に効果が有ると言う。十二正経と奇経の督脈、任脈の二脈を合はせた十四経の絡穴と、膀胱の太絡の() を合せ十五絡穴有る。各経の絡穴は、督脈() 任脈() 肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- 募 穴→() の気の多く集まるところに在る。多くは腹部に在り、() 病に効く、十二経それぞれの募穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- 俞 穴→病をよく() する穴の意で、背部に在り() 病に効く、十二経それぞれの俞穴は、(はいふ) 肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- 八会穴→八会穴とは、腑、臓、筋、髓、血、脈、骨、気の脈の交会する所とし、腑会、臓会、筋会、髓会、血会、脈会、骨会、気会の名が有る。腑会() 臓会() 筋会() 髓会() 血会() 脈会() 骨会() 気会() で有る。
- 四総穴→吐腹は() に止め、腰背は() に求む、頭項は() に尋ね、面目は() に収む。
- 八総穴→八総穴とは奇経八脈の主治穴を言い、各奇経の主治穴は、衝脈() 帶脈() 督脈() 任脈() 陰維脈() 陽維脈() 陰蹻脈() 陽蹻脈() で有る。
- 五俞穴→五俞穴とは、井穴、榮穴、俞穴、経穴、合穴の事で、四関に在りそれぞれに五行(木、火、土、金、水)が配当されている、但し陰経は木から、陽経は金から始まる。又陰経は原穴と俞穴、土穴とは一諸で有り、陽経の原穴は他の五俞穴、五行とは重ならず独立している。
- ★井 穴→経脈の() る所で、心下満を主る、各経の井穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- ★榮 穴→経脈の() る所で、身熱を主る、各経の榮穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- ★俞 穴→経脈の() ぐ所で、体重節痛を主る、各経の俞穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- ★経 穴→経脈の() く所で、喘咳寒熱を主る、各経の経穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。
- ★合 穴→経脈の() る所で、逆気而泄を主る。各経の合穴は、肺経() 大腸経() 胃経() 膀胱経() 心経() 小腸経() 膀胱経() 腎経() 心包経() 三焦経() 胆経() 肝経() で有る。

※八会穴は各会穴の主治を記憶すること。又各経穴の所属経絡及び取穴法を充分記憶すること。以上